

人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	寛骨臼骨折の長期治療成績
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2007年以降、以下の施設で寛骨臼骨折と診断され治療（保存・手術）をうけた患者さん。 ・新潟大学医歯学総合病院 ・新潟市民病院 ・新潟県立新発田病院 ・長岡赤十字病院 ・魚沼基幹病院 ・新潟県立中央病院
③ 概要	<p>寛骨臼骨折とは、股関節の受け皿が折れてしまうことにより、将来的に変形性股関節症となる可能性がある骨折です。一方でまれな骨折であり、また骨癒合が得られると治療終了となることが多く、日本の寛骨臼骨折の治療成績についてはほとんど報告されていません。</p> <p>また通常は強い力がかかって折れる骨折ですが、近年は骨粗しょう症にともなって弱い力で折れる寛骨臼骨折の報告が増えていますが、その治療成績はまだわからないことが多いのです。</p> <p>日本は世界の中でも高齢化率が高く、日本の寛骨臼骨折の傾向や治療成績は、他国にとって有益な情報となる可能性が高いと考えられます。</p> <p>そこで私たちは、新潟県での治療成績を診療録から調査する研究を計画しました。</p>
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	新潟県の治療成績を調査し、高齢化に伴う治療成績の変化や治療成績向上につながる因子を解明することです。
⑥研究期間	倫理委員会承認日から2034年12月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	各病院の診療記録に残されている病歴、画像、治療経過を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。他の機関へ提供されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（性別・受傷時年齢・受傷原因・治療内容）、受傷時から最終診察時までのX線やCTなどの画像、外来通院時の身体所見
⑨利用の範囲	新潟大学 整形外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立新発田病院 整形外科医長 須田 健
⑪お問い合わせ先	新潟大学整形外科 医局 電話：025-227-2272 e-mail：ikuneko@med.niigata-u.ac.jp